

地域の人材で防災教室

～自分の命は自分で守ろう！～



P

●事業実施に至った背景、目的

現在、周布地区には自主防災から推薦された7名の防災士がおられる。地区社協が行っている防災訓練においても防災士が活躍された。そこでセンターでも年2回実施している防災訓練を、防災士の協力を得ながら地域住民が身近に取り組める事業をしたいと考えた。新しく出来た「周布川西防災センター」を利用した防災教室を行い、参加者が地震や災害について自分事として捉え、自分の身は自分で守る必要性を感じてもらう事業とした。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- ・講師（浜田市防災士）と打合せ（どのような内容にするか・担当分け）
- ・浜田市消防本部（起震車の予約）



D

●事業の概要

- ・起震車体験（実際に起きた地震を体験してもらい揺れの強さを実感してもらう）
- ・防災クイズ（豆知識として覚えておいてほしい事をクイズ形式で行う）
- ・非常持ち出し品（非常持ち出し品を説明し、それを参考に自分に合ったものなど何が必要かを考えてもらう）
- ・マイタイムライン（実際に災害が起きた時、避難行動について時系列で整理した計画表を立てられるよう考えてもらう）



C

●事業実施後の振り返り

地域の防災士の協力で、わかりやすく防災について学べた。顔見知りの方に話をしてもらうことで親近感がわき、頭に入りやすかった。地域住民は防災意識が高く、これからも新しい情報を提供できるよう、今後も防災士の協力は不可欠である。防災士自身の非常持ち出し品は参考になった。周布川西防災センターで行うことにより、近隣住民の方の参加が多数あった。

A

●令和7年度以降の方向性

- ・地域の防災士と連携をとりながら、今後も防災について地域住民に何が必要かを認識し、職員もいろんな情報を収集しながら、事業を考えたい。
- ・センターから地域へ出張して事業を展開していく必要性を感じた。センターに来ることができない高齢者にも学びの場を提供していきたい。

浜田市消防本部
起震車体験



マイタイムライン
の説明



防災士のみなさん



防災クイズ
何問正解かな？



非常持ち出し品
の説明

